

市町村名	多良間村							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	多良間多目的拠点施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	島の定住を支える重要な産業である観光振興を図る為、災害時における観光客等への安全安心を確保するための避難場所や住民と観光客の交流拠点、離島の人材育成拠点として活用できる複合施設を整備する。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		24年度	24年度(繰越)	26年度	27年度	28年度	
		(a)当初予算額	314,000	-	399,232			
		(b)予算現額	314,000	-	403,734			
		(c)増減額(b-a)	0	-	4,502			
		(d)繰越額	-	314,000	0			
	A. 計(b+d)	314,000	314,000	403,734				
		B. 執行済額	0	82,498	403,734			
		うち交付金充当額	0	65,998	322,842			
	次年度繰越額	314,000	0	0				
	執行率(%) (B/A)	0.0%	26.3%	100%				
予算の状況の説明	平成24年度全額繰り越して25年度に工事着手したが建設場所が軟弱地盤だった為地盤改良工事が必要となった。工期の関係で基礎工事までで事業を打ち切り、26年度で継続事業として執行し事業完成となった。当初想定していなかった地盤改良工事、建設単価の上昇もあり事業費の大幅増となった。							
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	24年度(繰越)	26年度	27年度		
		避難及び交流等のための多目的拠点施設の整備	目 標	(施設の整備)	(施設の整備)	(施設の整備)	()	
			実 績	未達成	施設の整備	施設の完成		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	施設の完成により離島の人材育成の拠点としての活用、住民と観光客との交流、災害時の避難場所としての安全・安心の確保等あらゆる面から多良間村発展の為の複合施設として期待できる。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
			24年度	24年度(繰越)	26年度	27年度		
		多目的拠点施設の整備による地域の交流拠点施設として活用する。	目 標	()	(交流拠点施設としての活用)	()	()	()
			実 績		交流拠点施設としての活用			
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
進捗状況説明	平成24年度全額繰り越して25年度で工事着手、26年度で施設が完成し、27年度から交流拠点として地域行事等を行っている。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	住民と観光客の交流拠点としての施設整備をおこなった。全国的な職人不足、建設物価の高騰等で入札不調が続き、さらには当初予測しなかった建設敷地の軟弱地盤の地盤改良工事が追加され、完成までに3年の期間を要し、25年度には多額の不用額がでた。工事量の増、離島単価の見直し等で完成までに事業費の大幅増となった。	施設が、地域住民、観光客の交流に活用できるよう運営していく。また、災害時の避難施設としての機能を備えており、地域住民等の安全・安心を確保する施設としても迅速に対応する必要がある。
今後の取り組み方針		
離島の人材育成拠点、災害時における安全安心を確保するための避難場所、島の定住を支える観光振興を図るため住民と観光客の交流拠点等、多目的に活用できる複合施設の完成は村民の願望であった。多くの分野で活用できる「使い勝手のいい」施設として地域住民等の意見を取り入れ、運営方法を検討していきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>403,734</td><td>403,734</td><td>322,842</td><td>80,892</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	403,734	403,734	322,842	80,892	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
403,734	403,734	322,842	80,892	0										
多良間村 403,734千円 委託料 6,999千円 パセオ建築設計室 6,999千円 設計監理委託業務 工事請負費 396,735千円 (株)大米建設 254,880千円 (株)丸秀 72,360千円 (有)西筋産業 37,800千円 (株)大米建設 17,604千円 (株)清原織物 14,091千円 建築工事 電気設備工事 機械設備工事 外構工事 緞帳、舞台機構工事														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札を行っており妥当と考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○物価上昇等により28,734千円の増額となったが適正な予算規模と考える。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については事業目的達成の観点から必要不可欠なものであり、精算段階で検査を実施しており適正である。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	多良間村						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	水納島津波避難施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成24~26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受け入れ体制の整備	
事業内容	海抜が非常に低い水納島に、住民や観光客の安全・安心を確保するための津波避難施設を整備することで、災害に強い観光地として本村のブランドの向上を図る。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	32,500	-	14,290		
		(b)予算現額	32,500	-	13,378		
		(c)増減額(b-a)	0	-	▲ 912		
		(d)繰越額	-	32,500	0		
		A. 計(b+d)	32,500	32,500	13,378		
	B. 執行済額		0	19,203	13,378		
	うち交付金充当額		0	15,362	10,702		
	次年度繰越額		32,500	0	0		
	執行率(%) (B/A)		0.0%	59.1%	100%		
予算の状況の説明		当初は、前年度までの残事業を基に予算を計上したが、再度見積もりを取ったところ実施単価の上昇等があり事業費が増えたため、予算を補正し対応した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	24年度(繰越)	26年度	27年度	
	水納島津波避難施設の整備	目 標	(施設の整備)	(施設の整備)	(施設の整備)	()	
		実 績	未達成	施設の整備	施設の整備		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	平成24年度から計画を実施し、実施設計や工事の実施に予想以上の期間を要したが、平成26年度に完成することができた。施設の完成により住民と観光客との安全・安心の確保等が図られる。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	施設の整備による地域の避難施設及び観光スポットとして活用する。	目 標	()	(活用)	()	()	()
		実 績		活用			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	平成24年度から実施設計を始め、繰越事業として平成25年度に着工した。しかし、工事期間中の台風や季節風などの影響により、島への渡航が極めて困難となり工事が遅れ、竣工が平成27年3月となった。施設の完成により、地域の避難施設及び観光スポットとしての活用が可能となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	施設の完成を受け、地域の避難施設として活用が可能となった。避難施設として必要な常備品を設置することが必要である。また、水納島は村職員が常駐していないため、管理について、住民と調整する必要がある。 観光客に対する避難方法をどのように周知するか検討する必要がある。	施設の有効的な活用、周知をおこなうため、施設概要などをまとめたパンフレット等を作成し、避難施設としての備品等を確認する。
今後の取り組み方針		
避難施設に必要な備品等について、住民と管理方法、品目について調整し設置を行っていく。 観光客に対し、入島する際に避難方法を周知できないか、パンフレットの作成等を検討する。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		13,378	13,378	0
		交付金充当額	市町村負担金	
		10,702	2,676	
多良間村 13,378千円 委託料 491千円 → ㈱ながはま建築工房 491千円 〔 設計監理委託業務 〕 工事請負費 12,887千円 → ㈱大米建設 12,887千円 〔 建築工事 〕				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○指名競争入札を行って契約しており妥当と考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○物価上昇や水納島へのバージ輸送費用等を勘案し、5,638千円の増額の見直しをおこなった。
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目、使途については事業目的達成の観点から必要不可欠なものであり、精算段階で検査を実施しており適正である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	多良間村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	観光関連施設整備事業(東屋等)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成25～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受け入れ体制の整備	
事業内容	本村の地域資源を活かした観光産業の振興を図るため、観光関連施設等の整備を図る。本事業の導入により東屋等の整備を行い、誰もが自然と触れ合うことのできる、快適な環境づくりによる観光地形成を推進する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	25,500	27,600			
		(b) 予算現額	2,110	27,538			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 23,390	▲ 62			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	2,110	27,538			
	B. 執行済額		2,110	27,538			
	うち交付金充当額		1,688	22,030			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100%			
予算の状況の説明		予算内で事業を執行できた。▲62千円については、入札残となっている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	観光関連施設の東屋・公衆トイレの設置	目 標	(観光関連施設の整備)	(東屋・公衆トイレの設置)	()	()	
		実 績	委託設計業務	東屋・公衆トイレの設置			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	当初、東屋2棟、シャワー施設1棟、トイレ1棟の施設整備を予定していたが、建築場所の1か所が県立公園指定の特別地域内であることから、調整に時間を要すると判断し、計画を変更して東屋1棟を減にして、東屋・シャワー施設・公衆トイレをそれぞれ1棟整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	観光関連施設の東屋・公衆トイレの供用開始	目 標	()	(観光関連施設の整備)	(供用開始)	()	()
		実 績		委託設計業務	供用開始		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	観光関連施設において、東屋、シャワー施設、トイレを各1棟整備し、平成27年4月より供用開始している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本村は、県立自然公園に指定されているため、事業の内容により県への報告が必要になるので、事前の調整を計画的に行う必要があった。地域住民、観光客が施設を快適に利用できるような維持管理方法を検討する必要がある。	建設場所等の選定に当たり、県立自然公園の所管部署と連携を図ることにより、スムーズな事業執行が可能となった。 観光地としてのPRをおこないながら、適切な維持管理方法を検討する。
今後の取り組み方針		
地域住民、観光客が施設を快適に利用できるよう施設の維持管理に努め、観光案内版や観光パンフレット等により周知を図りながら観光地形成に取り組んでいく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
多良間村 27,538千円 委託料 1,833千円 工事請負費 25,704千円 (株)ながはま建築工房 699千円 富浜建築設計事務所 1,134千円 NAHA興産(株) 14,364千円 (株)朝日建設工業 11,340千円 (前泊地区公衆トイレ設計監理委託業務) (農村公園東屋等設計監理委託業務) (前泊地区公衆トイレ建築工事) (農村公園東屋等建築工事)				
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
27,538	27,538	22,030	5,508	0
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札を行っており妥当と考える。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な予算規模と考える。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については事業目的達成の観点から必要不可欠なものであり、精算段階で検査を実施しており適正である。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。		

市町村名	多良間村						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	美化緑化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成25～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	観光地形成に向け、公園、道路等の主要施設の環境美化を行い、観光関連施設の緑化推進を図る。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,000	5,968			
		(b) 予算現額	5,000	4,722			
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 1,246			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	5,000	4,722			
	B. 執行済額		3,921	4,722			
	うち交付金充当額		3,136	3,777			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		78.4%	100%			
予算の状況の説明		当初、年間を通して4名の人員を想定して予算を組んだが、2名の固定はあったものの、短期間でやめたりすることが多く、結局予定通りの執行には至らなかった。残額は事業間流用をおこない減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	観光関連施設8カ所の美化・緑化	目標	(年4回)	(8カ所)	()	()	
		実績	年2回実施 乗用芝刈り機購入	8カ所			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	村内の観光関連施設8カ所を、年間概ね4回の美化・緑化作業を実施することを目指した。作業員の必要人数を4名に設定して取り組んだが、年間を通して雇用できたのは2名であり、残りの2名は短期間の雇用契約にとどまった。その結果、年間3回程度の実施にとどまった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)
	観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化:必要箇所100%	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	村内の観光関連施設8カ所を美化・緑化作業を実施し目標を達成した。しかし年間をととして各箇所を年4回美化・緑化作業を実施する計画だったが、年3回程度しか実施できなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	村内の観光関連施設8カ所を美化・緑化作業を実施したが、必要とする4名の作業員が十分確保できない状況にある。目的である「実施地区の通年における美化・緑化」を達成するため、人員不足が課題である。	必要人員の確保に向け、労働条件等の改善を検討する。必要人数を確保できない場合は、短期雇用も検討しながら実施する。
今後の取り組み方針		
必要人員の4名の年間雇用ができない場合、雇用形態を工夫し、短期雇用を加えるなどして目的達成に努める。 また、労働条件等の改善も検討し、人材確保に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>4,722</td><td>4,722</td><td>3,777</td><td>945</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,722	4,722	3,777	945	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,722	4,722	3,777	945	0										
多良間村 4,722千円 賃金 3,805千円 共済費 241千円 需用費 549千円 原材料費 127千円 作業員賃金 社会保険料 消耗品費、燃料費作業員 (清掃用具・トイレ用洗剤等) 芝生														
資金の流 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○美化・緑化のための支出であり全ての支出について妥当と考える。 ○年間をとおしての作業に必要な経費を計上しており、適正な規模だと考える。 ○費目、使途については事業目的達成の観点から必要不可欠なもので書類等を検査時に確認しており、適正である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	多良間村						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	イネヨトウかく乱法防除事業(フェロモンチュウブ)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-ウ	
担当部署名	産業経済課	事業実施(予定)年度	平成25～30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	さとうきびの生産安定と品質向上を図るため、フェロモンチュウブを設置し、雌を探す雄の行動を阻害し、交尾率を低下させることにより、イネヨトウの次世代密度低下を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	20,000	20,000			
		(b) 予算現額	20,000	20,000			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	20,000	20,000			
	B. 執行済額		19,994	20,000			
	うち交付金充当額		15,995	16,000			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100%			
予算の状況の説明		予算内で事業を執行					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	さとうきびのイネヨトウ被害を防ぐためフェロモンチュウブを設置による防除を行う。 ・フェロモンチュウブ設置面積 A=290.8ha(1,632巻)	目 標	フェロモンチュウブ設置による防除	()	()	()	
		実 績	フェロモンチュウブ設置による防除				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	平成24年度に沖縄県がイネヨトウ交信かく乱法による防除技術普及事業を実施した経緯があり、島全域による交信かく乱防除効果により、イネヨトウの数は減って一定の効果は見受けられるものの、さとうきび被害は未だ多い状況にあり平成25年・26年度と実施した。 現在、製糖工場と被害調査等フェロモントラップによる成虫誘引数調査を継続しながら効果を検証している。 部分的ではあるがイネヨトウの被害(芯枯れ)がまだあり、イネヨトウの密度低下を進め、さとうきび増産及び品質向上に繋げる。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)
	イネヨトウを防除することで、さとうきびの生産安定と品質の向上を図ることで、地域の農業振興の発展に繋がる。	目 標	()	フェロモンチュウブ設置による防除	()	()	()
		実 績		フェロモンチュウブ設置による防除			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	近年サトウキビ生産量減産の要因の1つにイネヨトウによる被害が挙げられる。 本事業は、イネヨトウの交信かく乱法による防除技術の普及を目的に実施し、年間400haの防除計画に対し、事業実施2年目の平成26年度のさとうきび生産は21,000トン(平成25年度同等)の実績となった。今後も、本事業による防除を実施し、さとうきび生産の向上に繋げていく。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業は、さとうきびの害虫イネヨトウの防除を行うことで、さとうきびの生産安定、品質向上をの向上を図る目的で、各関係機関、生産農家の連携で実施した。	フェロモンチュウブ設置後のさとうきびの生育状況、イネヨトウの生息数等を調査しながら、さとうきび生産、品質向上に努める。
今後の取り組み方針		
交信かく乱法は非常に効果的な手法であり従来の慣行防除とは作業内容が大きく異なる新防除技術であるため、農家、関係機関等との連携を図りながら平成27年度も実施していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
多良間村 20,000千円 委託料 20,000千円 多良間地区さとうきび生産組合 20,000千円 イネヨトウかく乱法防除事業にかかる委託業務				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
20,000	20,000	16,000	4,000	0
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
資金の流 れ、費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先の事業者は、村内のさとうきび生産農家と連携しており、事業実施についても妥当であると考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な予算規模と考える。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については事業目的達成の観点から必要不可欠なものであり、精算段階で検査を実施しており適正である。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		